

支えあう日本
一人の為に

大塚勝利 NEWS

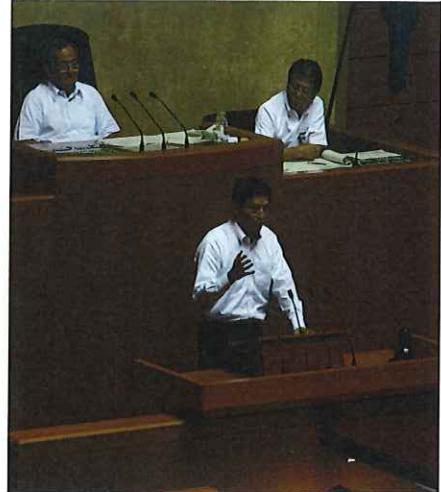
Vol.

23

2011.夏

6月議会で論戦！ 一般質問から 子どもたちの学ぶ意欲向上へ

国際化の時代を迎えたにもかかわらず、若者の内向きが懸念され、日本人は自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション力が課題との指摘など、時代の変化に対応した日本の教育が今問われている。杉並区立和田中学校の視察から、中学生の早い段階からキャリア教育を行い、子どもたちの学ぶ意欲、学力向上につながる「よのなか科」の取り組みを本県でも取り入れるべきと質した。教育長は「よのなか科は地域の人材活用、キャリア教育にもつながり、また学力向上にも資するものであり、総合的な学習の時間の効果的な事例として市町村に情報提供していく。」と答弁した。



「県民の代弁者」として一般質問に立つ大塚勝利議員

実現。ひとりの声からはじまりました！

犬ねこの致死処分減少策を提案



予防注射会場を視察する大塚勝利議員

予算特別委員会では、犬猫の致死処分の更なる減少策、犬の登録率、予防接種率の向上について質問。解決策として、動物取扱業者の義務責任の自覚、取締りの強化とともに、販売時の登録を提案。「登録申請を促すことは登録率向上に有効、登録について販売店が購入者に周知するよう指導を行う。」と前向きな答弁がありました。

“津波てんでんこ”とは？

「津波てんでんこ」という言葉をご存知でしょうか。過去に何度も壊滅的な津波被害に遭ってきた三陸地方に言い伝えられている言葉で、津波の際は家族のことも構わず、一人一人がてんでんばらばらに逃げ、一家全滅・共倒れを防げという教訓です。これまで厳しい自然災害と向き合ってきた三陸地方ならではの教訓で今も伝えられています。（予算特別委員会 防災教育の質疑から）

「出向く商店街事業」が始まる

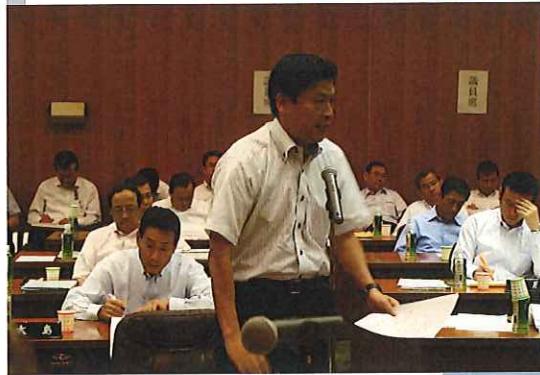
高齢者や障がい者等、日常の買い物に支障を来している人々を対象に、商店街が行う移動商店街、宅配サービス等の取り組みを支援し、商店街の活性化を図る事業が23年度から始まります。昨年の2、6月議会で大塚議員が提案していました。

世界に挑む人材育成の取り組みが始まる



中学生を対象とした先端科学技術体験合宿事業、留学した高校生が帰国時に母校で行う報告会の取り組みが23年度から始まります。本年2月の決算特別委員会で大塚議員が提案していました。

予算特別委員会で活発に論議！ 防災教育を強化し生命を守れ！



7月7日からの予算特別委員会（写真）では4度登壇し、県当局と活発な論議を行いました。

被災地3県の視察に基づき防災教育について質問しました。巨大津波が襲った三陸地方では、過去に何度も津波による壊滅的な被害を受けてきた経験から、岩手の釜石市（写真：釜石市小白浜漁港）や宮古市田老地区では防潮堤などハード整備の強化に力を入れ、万全の津波対策がとられてきました。しかし、今回は想定をはるかに超える被害に見舞われていた。

今回の震災の教訓

1. どんなにハード整備を行っても災害は起こること。
2. 災害から生き抜くには、ハード面だけでなく、住民避難などソフト面を強化し被害を最小限に抑える「減災」に取り組む。
3. 日ごろから個々人の防災意識を高める防災教育を進めるべき。



問 県教委は今回の震災から何を学んだのか？教育長は、「想定にとらわれず、自らの判断で行動できる児童生徒の育成が大事である。

（釜石市の防災教育など）先進事例を参考にしながら地域を巻き込んだ防災教育を推進することが重要。取り組んでいく。」と答弁がありました。さらに大塚議員は、①様々な場面を想定し家庭、地域も参加し行う実践的な避難訓練。②「放射線は伝染る」との風評被害の事例を通して、原発、放射線など正しい知識を得て、正しい行動がとれる防災教育の実施。③災害時の緊急連絡体制の整備、を提案。「今回の震災から、本県で何ができるのか検証していく。」と答弁がありました。

飲酒運転撲滅を宣言する決議 全会一致で採択

県議会は7月6日、「飲酒運転撲滅を宣言する決議」を全会一致で採択しました。飲酒運転事故が全国ワーストであることを重く受け止め、総合的な撲滅策の必要性を唱えています。公明党福岡県議団は2月、粕屋町で尊い高校生2名の命が奪われた飲酒運転の事故を受け、県に緊急要望。6月議会では飲酒運転撲滅を訴える公明党の代表質問に対し、小川知事は、「県民一人一人に飲酒運転は犯罪であると強く訴え、飲酒運転撲滅の意識を改めて徹底し、飲酒運転事故件数ワーストワンを断固返上する」と答弁がありました。



あなたのモラルで、助かる「命」があります

NPO法人はあとスペース

NPO法人はあとスペースのステッカー

この他、大塚議員は、犬ねこの致死処分減少策、地上デジタル放送移行への高齢者対策、木造戸建住宅の耐震改修補助制度の利用率向上について質問しました。

県議会便り 2期目がスタート！

2期目の議会がスタートしました。大震災を経験し、国民の価値観が大きく変わる中、希望を抱きにくい時代となりました。「政治とは、国民を幸せにすること」との言葉を忘れず、まずは「福岡県から」との決意で、希望あふれる社会へ変える為、全力で取り組んでまいります。

（新社会推進商工委員会、空港対策調査特別委員会委員 1965年生 46歳 創価大学法学部卒）